

ボクとワタシの写真館

5月の赤ちゃん387人誕生

このコーナーでは、3歳未満のお子さんの写真を掲載しています。掲載までに1年半以上かかりますので、現在1歳5カ月未満のお子さんを受け付けています。なお、お子さんの写真はホビーサイズにも掲載されます。問い合わせは広報課へ。



川村 健人(けんと)ちゃん
1歳6カ月、安行吉蔵
いつも元気いっぱい!
けんくんスマイル♪



神 まひろちゃん
2歳6カ月、西立野
ぼっちょりぼっぺのかわいい
まっひーです。



若杉 朔弥(さくや)ちゃん
2歳6カ月、東本郷
♡パパだ～いすき♡
お姉ちゃんになったよ



菅原 万優(まゆ)ちゃん
1歳6カ月、元郷2
我が家のプリンセス♡
パンダちゃん大好き♡



伊藤 彩花(あやか)ちゃん
2歳5カ月、東本郷
メルちゃんと踊り大好き♪
あ～ちゃんです☆



松井 日向(ひなた)ちゃん
2歳8カ月、東内野
みんなみてる～！エイエイ
ねえと遊ぶのが大好きだよ♡



高橋 愛美(あみ)ちゃん
1歳4カ月、朝日5
康ちゃん☆ゆかちゃん大好き
あみだよ!!



折笠 誠(まこと)ちゃん
2歳7カ月、東内野
アンパンマンとダンス大好き
わんぱく子で～す!



新井 佳菜(かな)ちゃん
2歳3カ月、朝日1
歌うこととおやつと
おばあちゃんが大好きです。



小原 一心(いっしん)ちゃん
1歳6カ月、安行北谷
パパ毎日お仕事お疲れ様♡
僕パパ大好き～☆



長井美月(みづき)・颯希(さつき)ちゃん
2歳8カ月、前川町3
2人いつまでも
仲良くしようね♡



古川 奈々(なな)ちゃん
2歳3カ月、領家3
公園とアンパンマンが
大好き!



秋山 裕貴(ゆうき)ちゃん
2歳8カ月、前上町
トミカ大好き!
いつも元気なゆうたんです♪



船橋 実結(みゆ)ちゃん
2歳9カ月、並木1
お喋り上手な実結ちゃん♡
毎日楽しいネ～



村上 巧真(たけま)ちゃん
2歳8カ月、西川口3
友哉にいに大好き♡
歌って踊って元気いっぱい



吉田 麻莉(まり)ちゃん
1歳9カ月、安行藤八
初めてのいちご狩りに
にっここ♡

ひと

学びある楽しい畑を目指して

農場経営 早船 源一郎さん(源左衛門新田)

今年2月、さいたま市で開催された第14回埼玉県青年農業者研究大会。その意見発表の部で「食育を中心に考えた都市近郊農家のビジネスモデルの提案」と題し、将来への意欲を発表。みごと最優秀賞を受賞した。11月に開催される関東ブロック農村青年クラブプロジェクト実績発表会に県代表として出場する。

源左衛門新田で江戸時代以前から続く農家の長男として生まれるが、「学生の頃は家業を継ぐとは思っていなかった」と振り返る。

大学時代は海外でボランティア活動に励み、卒業後は東京のデパートに就職。子ども用品売り場で働き、現在の子どもの取り巻く環境と、自分の子ども時代とのギャップを目の当たりにする。

「今の子どもは自然の面白さを知らない子が多すぎる。人と畑が近いという、近郊農家の利点を生かし、子どもたちにも自然の営みや生きるための基礎である食について教えることはできないだろうか」との思いが農業へ回帰するきっかけとなった。

農業を始めて3年目。まだまだ経験が浅く、試行錯誤の毎日。トマト栽培を軸に、土とふれあい、楽しみながら旬の野菜の収穫体験ができるように多品種の野菜や果物を育てる構想を練る。「花を見て、どんな野菜か分かる子どもってすごいと思うんです。収穫体験をとおして、生きている野菜や果物を学んで欲しい」と語る。現在、ボランティアとして地元の小学校の総合学習で農業について説明したり、中学生の就業体験の受け入れを行っている。

「農業という、重労働で泥臭いというイメージがあると思いますが、それを払拭するような、おしゃやれで芸術性のある農場作りもしていきたい」と若者らしい斬新な発想で、子どもたちが将来の夢として憧れるような農場経営を目指している。(玲)



文芸

短歌

金子富美子 選

天ぶらの衣にすける薄みどり春はたのしや夕
餉の支度す 幸町1 板橋 豊子

リハビリの少女に逢いに行く朝巻きのほぐれ
る白花菖蒲 芝新町 荒木 信子

病棟の窓から見えて校庭を走る生徒ら若さ溢
る 安行原 高橋 方子

俳句

上井 正司 選

青柳や嬰ころころとよく太る 芝 2 森川 義子

すれ違ふなきが近道麦の秋 赤井 4 倉川 和子

内孫に二人の男の子武具飾る 並木元町 鹿毛 み月

三病も持たるま、や梅雨近し 朝日 3 高松 幸江

無為の日を重ねるばかり心太 安行領根岸 小林 茂

川柳

新井 愁思 選

高齢の文字が罪悪めいてくる 飯塚 2 川瀬伊津子

二兎三兎追わず投資の裏を読む 川口 4 富田千恵子

大賞の夢に触れない絵の具皿 川口 1 松岡恵美子

投稿されるかたへ、はがきに住所・氏名・電話番号・部門を明記のうえ、1人3首(電)以内を毎月月末までに広報課文芸係へ。投稿は1人1枚1部門のみとし、漢字にはふりがなを。作品は添削することがあります。